

木栓とは、木材同士のせん断接合に用いられる木材、もしくは木質材料である。

鋼板と木材の先穴の誤差が避けられない鋼板挿入ドリフトピン等に比べ、現場で穴あけして打ち込めるため、ほぼクリアランス無く納めることができるのである。木栓のせん断強さは比重に依存するため、本実験では、国産広葉樹の中でも最も比重の大きい部類に属するシラカシの円形木栓を用いた。円形断面としたのは、穴の角での応力集中がなく母材を割裂させにくいくこと、穴の施工誤差が出にくいくこと、など利点が多いことを考慮したものである。